

2019 年度事業報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人放課後遊ぼう会

1 遊び場づくり事業

(1) 宝塚市内の8市立小学校において、放課後の遊び場を次のとおり開催しました。

※()内は2018年度の数値

事業名	開催小学校名	開催回数	参加者数(人)					平均参加者数(人)	児童数(人)	児童数当たりの参加者の割合(%)
			幼児	小学生	中高生	その他	合計			
宝塚市放課後子ども教室	仁川	176 (204)	343 (213)	15,711 (17,707)	23 (11)	267 (273)	16,344 (18,204)	92.9 (89.2)	689 (698)	13 (13)
	未成	103 (129)	127 (103)	2,999 (3,396)	11 (27)	130 (129)	3,267 (3,655)	31.7 (28.3)	312 (315)	10 (9)
	光明	58 (60)	99 (91)	3,044 (3,020)	3 (7)	91 (91)	3,237 (3,209)	56 (53)	172 (180)	32 (30)
	良元	53 (57)	141 (271)	2,814 (4,736)	8 (12)	144 (166)	3,107 (5,185)	59 (91)	332 (341)	18 (27)
	逆瀬台	35 (67)	19 (48)	1,521 (3,182)	0 (4)	13 (32)	1,553 (3,266)	44 (49)	270 (284)	16 (17)
	安倉	14 (15)	25 (21)	1,552 (1,689)	0 (0)	19 (12)	1,596 (1,722)	114 (115)	536 (535)	21 (21)
	安倉北	15 (19)	12 (20)	1,435 (1,409)	0 (0)	8 (13)	1,455 (1,442)	97 (76)	372 (391)	26 (19)
	宝塚	21 (30)	35 (56)	2,556 (4,082)	0 (1)	28 (28)	2,619 (4,167)	125 (139)	898 (914)	14 (15)
	小計	475 (581)	801 (823)	31,632 (39,221)	45 (62)	700 (744)	33,178 (40,850)	69.8 (70.3)	3,581 (3,658)	
兵庫県子どもの冒険ひろば	仁川	39 (32)	30 (20)	607 (470)	22 (5)	32 (60)	691 (555)	17.7 (17.3)	689 (698)	2.6 (2.5)
合計		514 (613)	831 (843)	32,239 (39,691)	67 (67)	732 (804)	33,869 (41,405)	65.9 (67.5)		



- ・毎回、放課後遊ぼう会所属のプレイリーダーを2、3人ずつ配置し、安全管理等を担当しました。
- ・登録ボランティア（校区外のボランティアであるサポーターを含む）は全校区で249人、ボランティアの延べ参加者数は1,439人でした。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、3月3日以降は予定していた開催が中止になりました。

(2) 市内の放課後子ども教室を支援しました

市内の8小学校区の放課後子ども教室からの依頼に応じてプレイリーダーを2人ずつ派遣し、放課後子ども教室開催の支援をしたり、カプラ大会を開催したりしました。

また、放課後子ども教室休止校1校、および未開設校1校において、カプラ大会を開催しました。

(宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」)

支援内容	支援校数	延べ支援回数	支援したスタッフの延べ人数	参加者数		
				児童	その他	合計
開設校支援	8	10	144	980	215	1,195
休止校での開催	1	1		22	6	28
未開設校でのプレ開催	1	4		242	0	242
合計	10	15	144	1,244	289	1,533

カプラ大会の様子



大工遊び支援の様子



2 子どもの育成に係る人材育成事業

ボランティア養成講座「安全管理・応急手当 講習会」を開催しました

宝塚市「放課後子ども教室」にかかわるボランティアを養成するための「安全管理・応急手当 講習会」を2回、開催しました。(宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」)

日 時：1回目：6月6日(木) 10時～12時
2回目：6月12日(水) 10時～12時

場 所：1回目：宝塚市立西公民館
2回目：宝塚市立中央公民館

参加者数：1回目：20人、2回目：29人

講座内容(1回目、2回目とも)

- ① 安全管理の必要性と方針
- ② ハザードについて(物的ハザード・人的ハザード)
- ③ その他の危険要因(気象、害虫・病原微生物等、アレルギー、不審者対応、火事・地震対応)
- ④ 開催前の準備(状況確認、配置決め、見回り、遊具の点検、救急箱の準備等について)
- ⑤ ケガ・事故・トラブル時の対応(状況把握・記録、連絡、緊急性の判断、医療機関への搬送、二次災害防止、原因究明・再発防止、情報の共有、事故に備えて、保険申請について)
- ⑥ 応急手当について(擦傷・切傷・刺傷・出血・鼻血・歯折・指切断・突指・打撲・捻挫・眼のケガ・骨折等)
- ⑦ 頭部のケガについて
- ⑧ 心肺蘇生法について



3 子どもの育成に係る啓発事業

(1) 遊びの重要性などをお便りで啓発しました

8小学校において、毎月、小学校と幼稚園の保護者向けに発行しているお便りに、その月の開催予定とともに、遊びの重要性や遊び場づくりの意義、自分の身を守るための注意点、大人の役割などを伝えるための啓発文を載せました。発行月と啓発タイトルは以下のとおりです。

お便り発行月	啓発文タイトル
6月・7月	熱中症を予防しよう！
9月	遊び三間・「やりたいこと」がない子どもたち
10月	遊びが育む自己肯定感とやる気
11月	ぶつからずに走れる？ ～遊びが育む「運動能力」～
12月	首まわりにご注意！鉄棒や総合遊具で遊ぶときの約束
1月	子どもが安心する大人って？ に参加して気付いたこと・感じたこと
2月	子どもが安心する大人って？ に参加して気付いたこと・感じたこと 2

遊びが育む 自己肯定感とやる気

達成感



自己肯定感



やる気



子どもの頃は、遊びたい遊びで **思いきり遊ぶ** ことがとても大事です。やりたいことであれば、根気よく集中して取り組みます。諦めず何度も挑戦してコマを回せるようになった時、ピカピカの泥団子を作り上げた時、秘密でトンネルを掘り上げた時、子どもたちは大きな **達成感、満足感、充実感** を味わいます。その繰り返しの中で、やり遂げた自分に **自信** を持ち、自分をもっと好きになり、「ありのままの自分が好き」という **自己肯定感** が育ちます。自己肯定感を持つ子どもは、困難に突き当たっても、自分の力を信じて **やる気** を持って **チャレンジ** していきます。つまり、「やる気」のもとになるのが自己肯定感です。

でも、「自己肯定感」を持っている若者の割合を諸外国と比較した結果、日本は最下位でした（右表）。悲しいことに、「自分には無理」とやる前から諦めたり、「自分はダメだ」と **自分に否定的な子どもが多い** のです。

「自己肯定感」は、**やりたいことを思いきりやるという経験の積み重ね** により身につきます。小さい頃に、遊びたい欲求がかなえられないことが続くと、「やりたい」「知りたい」という意欲がだんだんしぼんでいき、指示を待つようになってしまうと言われています。一方、十分に遊んだ子どもは、ある程度大きくなると自分で遊びを卒業し、年齢に応じた課題に「やる気」を発揮していきます。

若者の意識調査結果

(内閣府伊 平成26年版 子ども・若者意識調査)
調査対象：7か国(ロシア、中国、韓国、台湾、アメリカ、フランス、ドイツ)の若者

調査項目	日本 (%)	韓国、アメリカ、フランス、ドイツ (%)
自分自身に満足している	45.8	71.5-86.0
うまくいくかわからないと不安定に思っている	52.2	66.0-86.1
つまらない、やる気が出ないと感じた(調査前の1週間)	76.9	44.4-64.5
ゆううつな気分を感じた(調査前の1週間)	77.9	36.9-63.2
将来に明るい希望を持っている	61.6	82.4-91.1

遊ぼう会は、自分の責任で自由に遊ぶ遊び場です。ぜひ、お子さんに「遊ぼう会で遊んでおいで」と声をかけてください。ご参加をお待ちしています！

(2) ホームページを毎月更新し開催中の様子を紹介しました

(3) 啓発セミナーを開催しました

(宝塚市「放課後の子どもの居場所づくり地域スタッフ支援事業」)

子どもの遊びの重要性や遊び場づくりの意義を市民に広く知っていただくための啓発セミナーを開催しました。映画「みんなの学校」で大きな反響を呼んだ大空小学校の初代校長、木村 泰子氏を講師にお招きして、大空小学校での取り組みや豊富なご経験をもとにしたお話をお聴きしました。市内の放課後子ども教室の実行委員はもちろん、地域児童育成会をはじめ放課後施策にかかわる人を中心とした68人の参加者は、子どもたちに向き合う大人のあり方について深く考えさせられ、多くを学ぶことができ、大変好評でした。今後の活動の大きな糧となることと思います。



日 時：12月16日(月)10時～12時

場 所：宝塚市立男女共同参画センター・エル 学習交流室 1

講 師：木村 泰子氏(大阪市立大空小学校初代校長)

タイトル：子どもが安心する大人って？

参加者：68人



4 子どもの育成に係る調査事業

(1) 遊ぼう会開催校における危険箇所を定期的に調査しました

遊具の破損や腐食、つまずきの原因となる箇所、体は抜けるが頭部は抜けない危険な幅の隙間など、ケガや事故の原因となる危険箇所を定期的に調査し、各校に報告しました。

5 事業実施体制

(1) 運営委員会開催

日 時：原則、8月を除く毎月第1金曜日 10～12時、合計10回開催
(3月は臨時休校に伴い、開催中止。)

場 所：くらんど人権文化センター

参加者：8校区の代表者、チーフプレイリーダー、役員、延べ90人

内 容：情報交換、安全管理につき共有、開催内容・広報紙等につき検討

(2) プレイリーダー会開催

日 時：月1、2回、10時～12時30分 合計17回開催

場 所：くらんど人権文化センター・法人事務所

参加者：プレイリーダー、理事長、延べ192人

内 容：各校の情報交換、ハザードの確認、事前点検、応急手当、三角巾の使い方、骨折対応、頭部のケガ対応、事故シミュレーション、トラブル対応、不審者対応、雷対応、熱中症対策、ノロウイルス対策

※プレイリーダーは別に、消防署において救急救命講習受講(2年に1回)

(3) 各校区のボランティアからなる実行委員会主催の定例会出席

開催校：仁川小・末成小・良元小

参加者：プレイリーダー、理事長、延べ28人

回 数：24回

内 容：当月の開催中の様子につき情報交換、次月の開催日程や内容、今後の方針につき相談等

6 講演活動・表彰

(1) 宝塚市立仁川幼稚園 PTA 主催「ふれあい学級」にて、足立理事長が「豊かな遊びが子どもを育む」をテーマに、子どもたちの現状と遊びの重要性などについて保護者の皆さまにお話をしました。(10月31日)

(2) FM宝塚「つながるボランティア」で、仁川小放課後遊ぼう会が紹介されました。(12月9日)

(3) 認定NPO法人 放課後遊ぼう会が兵庫県の「ひょうご子育て応援賞」を受賞し、兵庫県公館で行われた表彰式に出席しました。(11月25日)

表彰式の様子と
表彰状

